

授業科目名	日本国憲法			科目コード	K0201P01
英文名	The Constitution of Japan				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会理解				
職名	教授	担当教員名	彼谷 環		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	「憲法」とは、国家をどのように治め、いかなる仕事をどのような方法で行うかを定めた国家の基本法です。国家権力は常に濫用される危険性があるため、近代憲法は権力担当者に対し、人権を保障する義務を課すとともに、予め権力に縛りをかけました。授業では、こうした「立憲主義」の概念を理解するとともに、多様化する現代の人権状況と、その人権を守るべき統治システムについて考えていきます。 また、教育・保育・福祉の専門性を高めていくことにも留意し、各分野で日本国憲法がどのように関連するかも学びます。				
キーワード	①基本的人権	②平和主義	③国民主権	④グローバルゼーション	⑤統治機構
到達目標	①日本国憲法の成立過程とその特徴について、説明することができる（20％）。				
	②具体的な裁判事件を基に人権の種類を把握し、憲法原理と現実とのギャップについて、理解することができる（30％）。				
	③国民主権原理と政治部門との関係、人権を守る「砦」として裁判所が機能していることを、理解することができる（30％）。				
	④教育・保育・福祉の専門分野で、日本国憲法がどのように関連するかについて、理解することができる（20％）。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
◎	◎	◎	◎		
ディプロマポリシー	①「人」としての資質・能力（人間性の向上）			④21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	①子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		◎		○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎	◎	○			○

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ガイダンス―「憲法」ってなんだろう？ 私たちの生活と日本国憲法の関係性を概観する。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、憲法に関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第2回	日本国憲法の制定過程について学ぶ。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第3回	「平等原則」と「平等権」について、理論と判例を考える。 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第4回	「信教の自由」の定義と歴史、具体的判例について考える。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第5回	「表現の自由」が保障された歴史的背景、制約的原理について学ぶ。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第6回	「経済的自由権」が保障されるようになった歴史的背景、「職業選択の自由」の概念と学説、判例を学ぶ。 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第7回	「社会権」の成立と「生存権」をめぐる課題について考える。 「朝日訴訟」を例に、日本国憲法25条の学説を整理する。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第8回	日本国憲法と国際法の関係を「子どもの権利条約」を通じて学ぶ。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		
	【復習】教科書を読んで復習する。		

第9回	身体的自由と「適正手続きの保障」について考える。 （理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。）	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめる。	30分
	【復習】DVDを観た感想をまとめる。	60分
第10回	統治機構の役割について、「国会」と「内閣」の関係から考える。	
	【予習】新聞やインターネットの情報を利用して、日本の政治状況を調べておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第11回	統治機構の役割について、「内閣」の組織と権能から考える。	
	【予習】日本の選挙制度について調べておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第12回	「裁判員制度」の成立経緯と現代的課題を、ビデオの視聴を通して考える。	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめる。	30分
	【復習】ビデオの感想をまとめて、Webシラバスに投稿する。	60分
第13回	統治機構の役割について、「裁判所」から考える。 「司法権の独立」原則を理解する。 （理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。）	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめる。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第14回	裁判所が有する「司法権」の一つである、「違憲審査制」の内容と特徴を学ぶ。	
	【予習】教科書を利用して、「違憲審査制」の概要を捉えておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第15回	日本国憲法の「平和主義」の特徴について考える。	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめる。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目①及び④では、授業中に指定する課題を中心に評価する（50%）。 到達目標項目②及び③では、期末筆記テストで評価する（50%）。 ①人間性：50%、②社会性：50% なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	小林武・石埼学編『いま日本国憲法は〔第6版〕』（法律文化社）	使用資料 ＜参考図書＞	テーマに合わせ適宜資料配布
授業外学修等	・授業冒頭で社会的事件に関する憲法的解説を行うので、常に新聞やインターネットニュースに目を通し、問題関心を持つたうえで参加してほしい。 ・授業テーマについては、テキストを中心とした予習、ノート等による復習を継続すること。		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付ける。 kayatama@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜・3限		